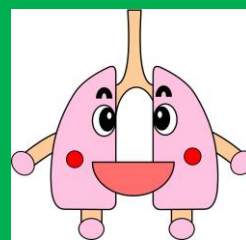


多摩府中保健所感染症週報

令和元年 第48週 (11月25日~12月1日)



肺えもん

今週の傾向

- ★ 管内および都内のインフルエンザ発生報告数は増加傾向です。
- ★ 管内で水痘の発生報告数が増加し、注意報レベル開始基準値を超えています。
- ★ 引き続き手洗いや咳エチケットに注意し、感染拡大を防止しましょう。

● 定点把握対象疾患・定点医療機関当たりの報告数

定点	疾患名	多摩府中保健所管内		東京都内	
		第47週	第48週	第47週	第48週
インフルエンザ	インフルエンザ	3.87	5.55	3.00	6.17
小児科	RSウイルス感染症	-	0.16	0.23	0.23
	咽頭結膜熱	0.37	0.63	0.36	0.47
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.84	4.32	2.43	3.36
	感染性胃腸炎	4.32	6.58	5.50	6.61
	水痘	0.63	1.63	0.46	0.80
	手足口病	1.84	2.21	1.50	1.68
	伝染性紅斑	0.21	0.05	0.14	0.12
	突発性発しん	0.47	0.68	0.31	0.43
	ヘルパンギーナ	0.16	0.05	0.18	0.12
	流行性耳下腺炎	0.05	0.05	0.08	0.07
	不明発しん症	0.26	0.05	0.05	0.06
	川崎病	0.05	-	0.00	0.01
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	-	0.33	0.26	0.34
基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	0.08
	無菌性髄膜炎	-	-	-	0.08
	マイコプラズマ肺炎	0.33	-	0.92	0.52
	クラミジア肺炎 (オウム病除く)	-	-	-	0.04
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	0.33	0.04	0.08
	インフルエンザ (入院)	0.33	0.33	0.48	0.80

※東京都感染症情報センター「WEB 感染症発生動向調査」を基に作成しています。

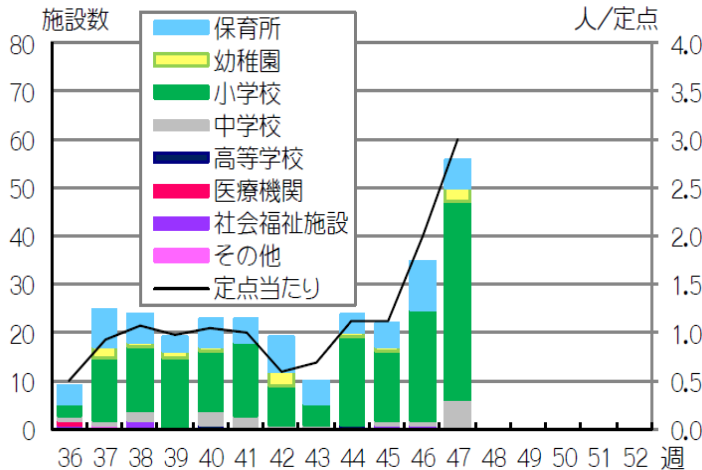
※定点把握対象疾患とは：発生動向の把握が必要なもののうち、患者数が多数で、全数を把握する必要のないものです。感染症法第14条により、都道府県は「指定届出機関（定点医療機関）」を指定し、指定届出機関は対象疾患について患者の発生状況を届け出ることになっています。

今週の状況

※赤線は2019年第48週までの定点当たりの報告数

●インフルエンザ・・・管内および都内の発生報告数は、増加しています。

施設別学級閉鎖等集団事例報告数



発生報告数は都内、管内共に増加しています。都内では第47週に56件の小学校で学級閉鎖が報告されました。

第47週までに感染症発生動向調査による定点医療機関から46件の検体が搬入され、44件からAH1pdm09(※注)が検出されました。

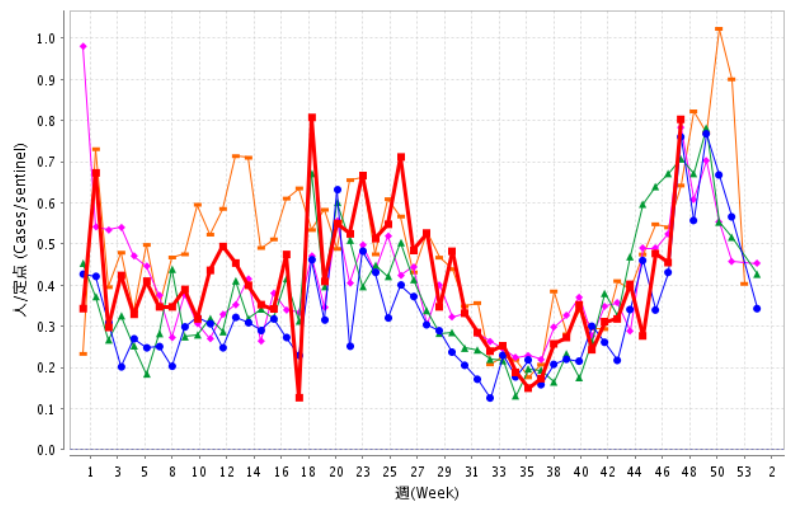
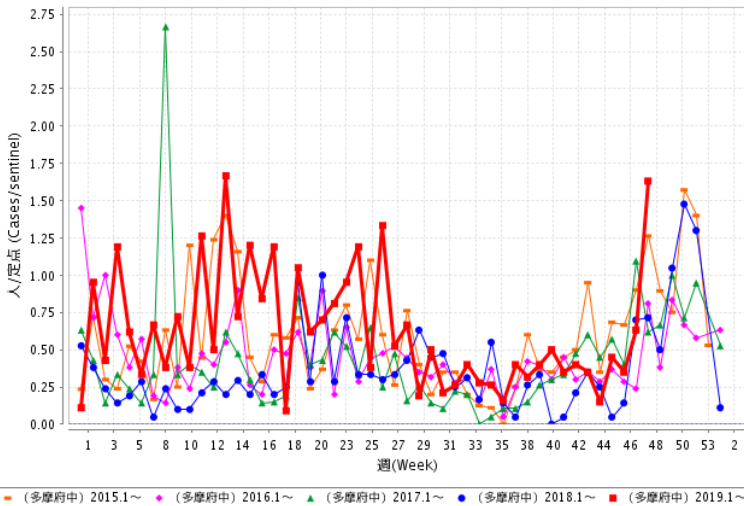
※注：2009年に流行し、当時、新型インフルエンザウイルスと呼ばれたウイルス

(参照：東京都感染症情報センターホームページ：<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/flu/flu/>)

●水痘・・・管内は報告数が増加し、注意報レベル開始基準値を超えました。

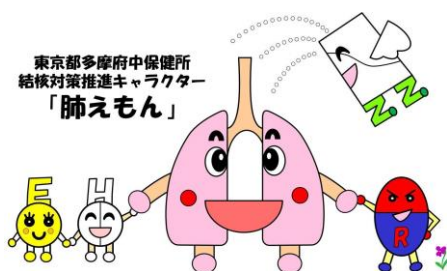
多摩府中保健所管内

都内



©2002-2019 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

©2002-2019 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health



多摩府中保健所 保健対策課 感染症対策担当
TEL：042（362）2334（代表）

検索 多摩府中 感染症週報